

令和5年度 第1回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 議事録

日 時：令和5年5月24日(水) 14:00～15:30

場 所：鹿島高等学校赤門学舎会議室

参加者：18名【委員(10名)】【事務局(3名)】【校内委員(4名)】【教育振興課(1名)】

配布資料

①第1回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 会議資料

- ・学校運営協議会委員・校内委員名票
- ・SAGA コラボレーション・スクールについて
- ・学校教育目標について
- ・旭ヶ岡キャリア塾について
- ・学校運営協議会（学校魅力強化委員会）について
- ・学校運営協議会年間計画について
- ・学校評価計画について
- ・高校魅力化評価システムについて
- ・所要費計画について
- ・佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会（学校魅力強化委員会）規約

②資料1：令和5年度学校評価計画

③資料2：(参考) 令和4年度「SAGA コラボレーション・スクール (SCS)」に係る高校魅力
化評価システム・ウェブアンケートの実施について

④資料3：令和6年度入学生「コース制」導入説明チラシ

⑤資料4：〔広告〕人気TikTokクリエイターと見た佐賀のステキ。

⑥資料5：令和5年度 キャリア部会活動案

<会順>

開会

I 学校長挨拶

- ・委員の皆様への謝辞
- ・学校教育目標「他者を尊重し、誠実で豊かな心と大きな志をもって逞しく未来を切り拓く力を育てる。」について。
- ・令和5年度の重点目標「至誠にして大志を抱き、探求に努めよ。」について。
- ・普通科改革について。(資料3)

II 会長挨拶

- ・前年度活動の振り返り及び今年度の抱負について。

○参加者自己紹介

- ・委員（参加委員10名の内、会長・学校長を除く8名）
- ・校内委員（教務主任・進路指導主事・企画研修主任・副主任の4名）
- ・佐賀県教育委員会教育振興課（資料4）
- ・事務局（副校長（大手門）、副校長（赤門）、主幹教諭の3名）

Ⅲ 議事

- 1 学校運営協議会（学校魅力強化委員会）について
 - ・委員、校内委員、部会制を中心に説明。
 - ・評価部会の名称を今年度から魅力化評価部会に変更。
- 2 学校運営協議会年間計画について
 - ・今後の学校運営協議会の日程確認。
 - ・資料への追記を依頼。
 - 7月20日（水）【評】第2回魅力化評価部会（教科書）。
 - 2月9日（金）【鹿】探究テーマ発表会（1年）。
 - 本日中に追記・修正したものをホームページにアップロードしておく。
- 3 学校評価計画について（資料1）
 - ・4月28日（金）に魅力化評価部会にて成果指標、具体的取組について検討。
 - ・本校の教育目標に照らし合わせ、各項目の数値目標の妥当性や、より良い教育活動に繋がるように評価計画を立てた。
- 4 高校魅力化評価計画について（資料2）
 - (1) 高校魅力化評価システム（アンケート）について。
 - (2) 今年度の目標（成果指標）について。
 - *7月をめどにアンケート依頼のメールを送付予定
- 5 所要費計画について
 - (1) 委員手当の計算方法の変更について
 - (2) 委員旅費について
 - (3) 令和5年度予算概要について
 - ・前年度より約20万円増額。増額分は旭ヶ岡キャリア塾など、講師謝金・旅費に割り当て。

<質疑・応答>

学校長：会議資料6ページの年間計画に、11月6日の旭ヶ岡キャリア塾が市民会館での実施となっているが、キャリア別トークセッションを行うことなども考えると、学校での実施ではないか？

副校長：市民会館が新しくなる、ということで使用を考えたが、学校実施に変更をする。

学校長：資料1の学校評価計画、「3 本年度の重点目標」の(1)、「探究心」になっている。「探求心」に訂正を。

委員1：高校魅力化評価システムの今年度の目標の中の「地域に、尊敬している・憧れている大人がいる。」を上げた理由は？

副校長：地域と繋がる活動や旭ヶ岡キャリア塾などを通して、子どもたちが活躍している大人の姿を知ること、将来の目標を定めることに繋がるのでは、と思い設定した。

学校長：この項目が、全国平均と比べかなり低い値を示している、ということもあった。

委員2：高校魅力化評価計画の目的は？

振興課：これからの社会に求められる生徒の資質・能力に関する状況を多面的に捉えることができるほか、学校や地域における学習環境に着目し、学びの土壌の現状を把握することができる。地域との協働による学校魅力化の取組について、生徒の資質・能力の向上や学習環境に与える影響を可視化・分析するところにより、高校魅力化の取組を推進することを目的としている。

委員2：実施をする際は、目的を浸透させた上で実施することが大事。

事務局：今年度は目的をより明確に伝え実施する。

IV 意見交換会

- ・3部会に分かれ、15分間の話し合い。その後、検討内容を全体で共有。

1 キャリア教育部会

(1) 旭ヶ岡キャリア塾 stage2 についての提案

『世界を広げ未来にはばたけ ～知らんばはじまん～』11月6日(月)開催

- ・1部はシンポジウム。2～3名のキャストイングの検討
- ・2部は15名程度の講師を考えている。2年生の参加の可否を検討し、2年生も参加する場合は講師陣を増やすなどの検討が必要。
- ・講師にはあえて佐賀を選んだ人、九州外で活躍している人、産後復帰などの女性のキャリア、などを考えている。
- ・生徒(進路が決定した3年生など)の中から、配信中継スタッフを募る、などの考えも持っている。

(2) 旭ヶ岡キャリア Labo についての提案

- ・空き教室を活用し、社会人と生徒の交流の場を創出。将来的にアドバイザーとして伴走支援できる体制を目指す。
- ・利用者：利用時間、登録制、登録資格など詳細を検討する必要がある。
- ・生徒：個別相談やキャリアセミナーの受講などが可能な体制づくりを目指す。学校外での交流や連絡先の交換などを在学中は行わないように、セキュリティに関する取り決めも検討を進めていく。

(3) 赤門 de 花見

- ・地域連携部会をはじめ、委員全員の共同の活動として企画したい。
- ・高校生も企画を考えることで社会と繋がる力をつけることができるのでは。
- ・小さい頃から赤門内でのオープンスクールに参加することで、鹿島高校への愛着が育まれることを期待する。
- ・卒業生の母校への愛学心をくすぐり、本校への活動の協力者となりうる人を増やしたい。

2 地域連携部会

- ・高校生ティーチャー、公開授業、地域ボランティアなどの活動実施について説明。
- ・ボランティア活動を「労働力として」という考えではなく、「地域の人とのふれあい」として考える。
- ・高校生と中学生が共に活動を行うことで、お兄さん、お姉さんの立場の高校生に刺激を受け、鹿島高校の進学実績に繋がるのでは。

- ・西部中学校も今年度から小学校4校と連携したコミュニティ・スクールになった。小・中・高の繋がりを見据えた教育活動を行っていけるのでは。

3 魅力化評価部会

- ・学校評価計画に関して、計画的に部会を開き、中間報告、最終報告、次年度の計画を行い、学校運営協議会にはかかっていく。
- ・高校魅力化評価システムと学校評価計画の整合性をとっていく。これが今年度の仕事になる。

4 全体まとめ

- ・部会での役割をしっかりと果たしつつ、みんなで意見を出し合いながら相互乗り入れでやっていきたい。
- ・協力して欲しいときは、声を上げよう。
- ・会議資料4ページにあるように、旭ヶ岡キャリア塾、キャリア Labo の活動を通して、生徒一人に一人のアドバイザー構想に向けみんなで取り組んでいこう。
- ・時間がある人は、会議終了後、キャリア Labo 構想に向けて校内散策をしてみてもどうか。

その他

鹿島市から以下の3点について応募の依頼

- ①第七次鹿島市総合計画改訂版（素案）に関する意見募集（パブリックコメント）
 - ②鹿島市特産品開発支援事業補助金
 - ③鹿島市ふるさと創生事業奨励金
- ・商業科が行っている商品開発など、手を挙げてみてはいかがだろうか。

<最後に>

会長：それぞれの部会、委員から積極的な意見をもらうことができ、充実した会となった。これからも相互連携でより良い活動になるようにしたい。より柔軟な意見を出し合えるよう、懇親会も企画したい。

学校長：いろいろな取り組みに対して、できることは、やる。できないことは、その理由を一つずつ壊して、やる。この気持ちで進めていきたい。

閉会